

第65回全日本実業団バドミントン選手権 京都大会出場割当

平成27年 2月 8日
日本実業団バドミントン連盟

[1] 出場割当数

地区 ブロック	支部名	H26年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
北海道	北海道	21	1	3	4
東北 9 28	青森	未登録	1	0	1
	岩手	2	1	0	1
	宮城	21	1	3	4
	秋田	1	1	0	1
	山形	未登録	1	0	1
	福島	4	1	0	1
関東 29 162	茨城	7	1	1	2
	栃木	9	1	1	2
	群馬	5	1	0	1
	埼玉	14	1	2	3
	千葉	9	1	1	2
	東京	75	1	10	11
	神奈川	43	1	6	7
	山梨	未登録	1	0	1
北信越 10 44	新潟	9	1	1	2
	長野	1	1	0	1
	富山	14	1	2	3
	石川	13	1	1	2
	福井	7	1	1	2
東海 12 60	静岡	1	1	0	1
	愛知	35	1	5	6
	三重	21	1	3	4
	岐阜	3	1	0	1

地区 ブロック	支部名	H26年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
近畿 17 90	滋賀	3	1	0	1
	京都	20	1	2	3
	大阪	46	1	6	7
	兵庫	21	1	3	4
	奈良	未登録	1	0	1
	和歌山	未登録	1	0	1
中国 9 34	鳥取	2	1	0	1
	島根	1	1	0	1
	岡山	10	1	1	2
	広島	14	1	2	3
	山口	7	1	1	2
四国 6 25	香川	10	1	1	2
	徳島	1	1	0	1
	愛媛	11	1	1	2
	高知	3	1	0	1
九州 10 24	福岡	18	1	2	3
	佐賀	未登録	1	0	1
	長崎	2	1	0	1
	熊本	1	1	0	1
	大分	未登録	1	0	1
	宮崎	未登録	1	0	1
	鹿児島	1	1	0	1
	沖縄	2	1	0	1
総合計		488	47	59	106

- (注1) H26年度登録数は、H27年 2月 5日現在
- (注2) 出場割当数は、日本実業団バドミントン連盟規約細則による。
- (注3) 男子と女子の割当数は、同数とする。
- (注4) 各地区ブロックには、右の特別枠(男女共)を割り当てる。
- (注5) 開催地ブロックは、特別割当数とする。

[2] 地区ブロック特別枠

北海道	4	東海	8	九州	4
東北	4	近畿	12	合計	72
関東	22	中国	4		
北信越	6	四国	8		

[2] 推薦チーム(64回香川大会)

【男子の部】

- 優勝 NTT東日本(東京)
- 準優勝 日本ユニシス(東京)
- 3位 トナミ運輸(富山)
- 3位 日立情報通信エンジニアリング(神奈川)
- ベスト8 三菱自動車京都(京都)
- ベスト8 トリッキーパンダース(大阪)
- ベスト8 トヨタ自動車(愛知)
- ベスト8 丸杉(岐阜)
- ベスト16 北都銀行(秋田)
- ベスト16 タダノ(香川)
- ベスト16 ジェイテクト(愛知)
- ベスト16 セーレン(福井)
- ベスト16 宇部興産(山口)
- ベスト16 JR北海道(北海道)
- ベスト16 南那須精工(栃木)
- ベスト16 東海興業(愛知)

【女子の部】

- 優勝 日本ユニシス(東京)
- 準優勝 ルネサス(熊本)
- 3位 NTT東日本(東京)
- 3位 ヨネックス(東京)
- ベスト8 岐阜トリッキーパンダース(岐阜)
- ベスト8 ACT SAIKYO(山口)
- ベスト8 山陰合同銀行(島根)
- ベスト8 北都銀行(秋田)
- ベスト16 日立化成(茨城)
- ベスト16 プレティグローバルリンクス(大阪府)
- ベスト16 広島ガス(広島)
- ベスト16 Cheerful鳥取(鳥取県)
- ベスト16 七十七銀行(秋田)
- ベスト16 トヨタ自動車(愛知)
- ベスト16 三菱電機(兵庫)
- ベスト16 岡山ガス(岡山)